

# 1. 評価結果概要表

作成日 平成21年8月28日

## 【評価実施概要】

事業所番号	4570101495		
法人名	特定非営利活動法人ゆめ家族		
事業所名	平和が丘ケアホーム		
所在地	宮崎県宮崎市平和が丘西町3-1-3 (電話) 0985-20-8063		
評価機関名	社会福祉法人宮崎県社会福祉協議会		
所在地	宮崎県宮崎市原町2番2-2号		
訪問調査日	平成21年7月16日	評価確定日	平成21年8月28日

## 【情報提供票より】 (平成21年6月25日事業所記入)

### (1) 組織概要

開設年月日	昭和(平成)18年3月23日		
ユニット数	1 ユニット	利用定員数計	6 人
職員数	6 人	常勤5人, 非常勤1人, 常勤換算5.6人	

### (2) 建物概要

建物構造	木造	造り
	2階建て	1~2階部分

### (3) 利用料金等(介護保険自己負担分を除く)

家賃(平均月額)	30,000 円	その他の経費(月額)	実費 円
敷金	有(円)	(無)	
保証金の有無(入居一時金含む)	有(円)	有りの場合償却の有無	有 / 無
食材料費	朝食	円	昼食 円
	夕食	円	おやつ 円
	または1日当たり 1,200 円		

### (4) 利用者の概要(平成21年6月25日現在)

利用者人数	6名	男性 1名	女性 5名
要介護1	0	要介護2	2
要介護3	1	要介護4	0
要介護5	3	要支援2	0
年齢	平均 88歳	最低 82歳	最高 92歳

### (5) 協力医療機関

協力医療機関名	いちほら医院、三友会いしかわ内科、楠元内科胃腸科医院 ハートピア細見クリニック、ひとえ歯科医院、黒川皮膚科
---------	--

## 【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

管理者の、認知症に対して理想とする個別ケアへの思いから、花見や虫狩りができる公園や買い物に便利な住宅街に平成13年に開設している。当初からの利用者もあり、居室等は住み慣れた長年の歴史を感じる。協力医療機関は複数あり、協力的で定期的な往診や気軽に相談に応じてもらえ、利用者、家族に安心と落ち着いた生活感を与えている。平成18年よりリニューアルし、NPO法人として利用者を主体に医療、福祉、地域との連携と家族の協力もあり、研修の場として福祉、看護従事者等多くの人材育成が期待されている。また、障害者の社会復帰支援として週2回、ボランティアを受け入れており、そのことがホームにも好影響を与えている。

## 【重点項目への取組状況】

重点項目	①	前回評価での主な改善課題とその後の取組、改善状況(関連項目:外部4) 外部評価の改善点(夜間の避難訓練)は、利用者の心身状況から実際に取り組むことはできてないが、職員と家族連絡網を利用して夜間連絡を実施している。 今回の自己評価に対する取り組み状況(関連項目:外部4)
	②	職員全員が評価の意義を理解し、自己評価に取り組んだことで、日ごろのケアを振り返ることができ、行き届かない部分が見えてきた。利用者の言葉やその表情、行動から奥深い思いを感じながら、一人ひとりのペースを大切に支援できるよう努めている。
重点項目	③	運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取り組み(関連項目:外部4, 5, 6) 同地域のグループホームがお互いの運営推進会議に相互訪問することや、ネットワークをつくり、情報交換などを通して、質の向上を目指したい意向である。ホームは、宮崎市から認知症チームケア推進事業の委託を受けており、協力員として4人が地域研修の講師を務め、質の向上を目指している。
	④	家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映(関連項目:外部7, 8) 家族会は、行事参加後に家族だけの会合を開いており、家族代表が意見を集約し事業所に伝えたり、地域の人に協力を依頼するなどホームの大きな協力者となっている。 日常生活における地域との連携(関連項目:外部3) 運営推進会議での自治会活動情報から地域の行事の夏祭り、十五夜に参加するようにしている。また、子供みこしに立ち寄るようお願いし、利用者がおさい銭をあげる機会もある。公民館で住民の方を対象に、認知症の話をしたり、介護相談に応じる体制もできている。

## 2. 評価結果 (詳細)

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<b>I. 理念に基づく運営</b>					
<b>1. 理念の共有</b>					
1	1	○地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	「家族や地域と協力し認知症の人が安心して生活でき、家族のような絆を結ぶ支援をする」と地域密着型としての独自の理念を作りあげている。		
2	2	○理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	月に1回の管理者と職員との話し合いや、毎日の申し送り時に、家族や地域の人たちとのかわりの重要性を認識し合い、実践に向け取り組むようにしている。		
<b>2. 地域との支えあい</b>					
3	5	○地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	運営推進会議で自治会から知り得た、地域の行事の夏祭りや十五夜に参加している。子供みこしに立ち寄るようお願いし、利用者がおさい銭をあげる機会もある。公民館で地域住民を対象に認知症の話をしたり、介護相談に応じる体制もできている。		
<b>3. 理念を実践するための制度の理解と活用</b>					
4	7	○評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	職員全員が評価の意義を理解し、自己評価に取り組んだことで、日頃のケアを振り返ることができ、行き届かない部分が見えてきた。今後は改善点について取り組む意向である。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
5	8	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	2か月ごとに、自治会長、民生委員、包括支援センター等の参加で開催し、事業報告や自治会の情報を基に話し合っている。今後、同業者の運営推進会議に相互訪問したり、情報交換を通して、質の向上を目指したい意向がある。		
6	9	○市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	宮崎市から認知症チームケア推進事業の委託を受けており、地域包括支援センターの協力員として地域研修の講師を務めている。		
<b>4. 理念を実践するための体制</b>					
7	14	○家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々に合わせた報告をしている	家族には、暮らしぶりを撮影したホーム便りを発行し、遠くにいる家族に送り、毎月様子を知らせている。変化があった場合は、そのつど家族に報告している。		
8	15	○運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	家族会は、行事参加後に随時家族だけの会合を開いており、家族代表が意見を集約し事業所に伝えたり、地域の人に協力を依頼するなどホームの大きな協力者となっている。		
9	18	○職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	異動については、ホーム便りで報告するとともに、新しい職員となじみの職員と一緒にケアを行うなど、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている。		


外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<b>5. 人材の育成と支援</b>					
10	19	○職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	実務経験に応じた県内・外の研修に積極的に参加し、受講後は伝達研修を行い課題に取り組んでいる。また、管理者は職員の感性と長所、短所を見極めその人に適した能力を更に向上するように育成している。		
11	20	○同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	グループホーム連絡協議会や認知症チームケア推進会議の研修に参加し、交流する機会を持つようにしている。		
<b>Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b>					
<b>1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応</b>					
12	26	○馴染みながらのサービス利用 本人が安心して、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	職員は家族と話し合いながら、本人が何を望んでいるかを把握し寄り添いながら、時間をかけて、安心できる雰囲気となじみの関係をつくるよう努めている。		
<b>2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援</b>					
13	27	○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	職員は利用者の家族のような気持ちで、言葉やその表情や行動から奥深い思いを感じながら、一緒に生活をしており、時には職員が癒やされたり、元気をもらったりして支えあう関係を築いている。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<b>Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b>					
<b>1. 一人ひとりの把握</b>					
14	33	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	センター方式を活用しながら、生活歴や本人・家族の思い、要望、なじみの物の情報収集に努め、本人の気持ちに沿えるよう検討している。		
<b>2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し</b>					
15	36	○チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している	毎月ミーティングを開催し、職員が意見を出し合い、ケアプランの作成を行っている。また、ケースカンファレンスは家族や主治医の同席で行うこともあり、必要な場合は、主治医に計画を渡し意見をもらうなど、本人主体の介護計画が作成されている。		
16	37	○現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	介護計画は短期、長期目標を1か月と2か月に設定し毎月評価を行っている。ケア計画に添った日々の記録をカンファレンス等に生かし、現状に即したケアプランの見直しを行っている。		
<b>3. 多機能性を活かした柔軟な支援</b>					
17	39	○事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	地域密着を大事にし、地域に開かれたホームとして介護の相談を受けたり、利用者には、医療連携体制で24時間健康管理・医療活用の強化を図っている。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<b>4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働</b>					
18	43	○かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	定期的な往診があり、緊急時にも早急に対応している。主治医に情報を提供し、主治医からも管理者と本人に在宅療養に関する文書が渡され、本人・家族の安心につながっている。		
19	47	○重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	契約時に、医療依存度が高くなった場合や看取りに関して、本人及び家族等と話し合い意思確認を行っている。実際に、動揺する家族が主治医の精神的ケアにより落ち着き、穏やかな中で家族、職員に見守られながら看取られたケースもある。		
<b>IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</b>					
<b>1. その人らしい暮らしの支援</b>					
<b>(1)一人ひとりの尊重</b>					
20	50	○プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	職員は、利用者の生活歴や現在の心身の状況に応じて、優しく寄り添うように声かけをしている。また、ケース記録は、A、B、C・・・でファイルされ、申し送りでも個人名は一切使わないよう配慮し、個人情報の保護に日々努めている。		
21	52	○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	職員は、利用者一人ひとりの言葉に表現できない深い思いを寄り添いながら推し量り、一人ひとりのペースを大切に支援できるよう努めている。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
<b>(2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援</b>					
22	54	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	職員は一人ひとりの状態に合わせて利用者の間に座り、介助しながら和やかで笑いのある楽しい雰囲気の中で、一緒に食事をしている。		
23	57	○入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めず、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	本人の希望で毎日入浴できるが、体調に応じて、主治医と相談しながら清拭や入浴を行っている。		
<b>(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援</b>					
24	59	○役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	年々、重度化が進んでおり、以前のように活動的ではなくなっているが、しゃべったり笑ったりが日課の1つである。時には畑で採れる茄子やトウモロコシの収穫や洗濯物をたたんだり、近くの公園で弁当を食べたりと家族やボランティア、小学生や、実習生の来訪もあり、気晴らしの支援になっている。		
25	61	○日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	職員、家族と全員で弁当持参の花見や虫狩り、散歩や買い物など希望に沿って出かけられるように支援している。医療のデイケアに行く人もいる。		
<b>(4) 安心と安全を支える支援</b>					
26	66	○鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	常に出はいりできるよう鍵はかけていない。職員は、常に利用者の所在を確認している。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
27	71	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	年1回消防訓練を行い、夜間に連絡網を使って職員、家族に連絡訓練をしている。災害対策のマニュアルと備蓄品は準備されているが、消防訓練等の記録は見る事ができなかった。	○	夜間の避難訓練は、職員・家族の連絡網を使っての連絡確認を実施しているが、実際に行った避難訓練、消防訓練の記録は、日常的にいつでも閲覧できる場所に保管してほしい。
<b>(5) その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援</b>					
28	77	○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	一人ひとりの好みと摂取状況を把握しており、栄養バランスがよく、食べやすく調理した食事を習慣に応じて支援している。		
<b>2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり</b>					
<b>(1) 居心地のよい環境づくり</b>					
29	81	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	台所と食堂兼リビングは明るく、ベランダや庭木が見え風通しも良く利用者の団らんの場であり、七夕の飾り物で季節感も取り入れ居心地よく過ごせる工夫をしている。		
30	83	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	居室には、本人の使い慣れた物や装飾で、居心地よく落ち着いて過せるように工夫している。		

※  は、重点項目。